# 2025全日本自転車競技選手権大会ジュニアロードレース
# 大会特別規則（競技運営確認事項）

競技委員長　　中梶　秀則
総務委員長　　坂井田米治
審判長　　藤田　将志

2024年（公財）日本自転車競技連盟および大会特別規則で実施する。

## 1．パネルメンバー

藤田　将志　　伊藤　将史　　見崎　仁郎　　高畑　秀規　　平葭　正樹

## 2．コミュニケ

（1）スタートリスト，リザルト等のコミュニケは競技結果速報版に掲示するので、配布はしない。
（2）コミュニケは、JCFHP及びTwitterにより随時発行する。

## 3．ライセンスコントロール

日時：2025年6月28日（土）13:50～14:50
場所：南丹市美山文化ホール会議室1F1・2・3
提出物
（1）競技者登録証（ライセンス）＜登録証不携帯は7,000円のペナルティーを科す。＞
（2）使用するチームジャージ＜違反は7,000円のペナルティーを科す。＞
配布物
（1）ADカード
選手・監督（各都道府県代表者）・コーチ（各チーム関係者）
※（ADケースについては、選手以外の方は各自準備ください。はがきサイズ）
（2）プログラム
各チーム代表者1部＋選手数分
（3）ゼッケン[2枚]・フレームプレート[1枚]
【男子ジュニア】 白地に黒文字 （№1～№116）
【男子U17】　 白地に黒文字 （№201～№270）
【男子U15】　 白地に黒文字 （№301～№328）
【女子ジュニア】ピンク地に黒文字 （№1～№16）
【女子U17】　 ピンク地に黒文字 （№51～№53）
※ なお、装着に使用する安全ピン、結束バンド等は各自で準備してください。
（4）計測チップ
自動計測装置を使用するので、競技者は自転車の前フォーク所定箇所に計測チップを装着すること。
※ 計測チップとフレームプレートは招集所に返却してください。
未返却、破損等には実費請求します。

## 4．監督会議

日時：2025年6月28日（土）15:00～15:30
場所：南丹市立美山小学校ランチルーム
※ 監督会議への出席は、各都道府県連盟代表者（監督・コーチ等）2名までとする。
※ 出席者はライセンス保持者とする。（JCFﾁｰﾑｱﾃﾝﾀﾞﾝﾄ・審判員、日本スポーツ協会公認コーチ）
※ 質疑事項については事前に書面で提出すること。当日の質疑応答時間は設置しません。

## 5．ヘルメット

選手はJCF公認及びJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット，劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。顎ひもが緩んでいる状態での使用は認めない。（装着時に顎と顎ひもの間隔は指2本程度）

## 6. ユニフォーム（ジャージ・パンツ）

自身の所属するチームジャージまたは無広告のジャージのみ着用できる。
U15選手においては、受付時に総務委員長へ届け出ること。

## 7. 装備

競技中に使用する靴下とオーバーシューズの長さは、踵（かかと）の中心と、腓骨（ひこつ）頭中心の距離の長さの半分を超えてはならない。

## 8. 自転車検車・スタート・シート・計測チップ動作確認

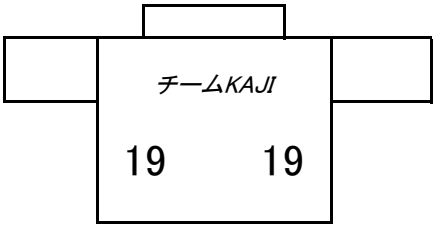
（1）日　時：2025年6月29日（日）　7:15～　各スタート15分前まで
（2）場　所：招集テント
（3）スタートできる状態で招集・検車後，出走する本人がスタート・シートに署名すること。
（4）スタート前に招集所において自動計測チップの作動確認を行うこと。
作動確認をしていない選手は競技に参加することができない。

## 9. 映像記録装置

（1）カメラの自転車への搭載は個人情報保護の観点から禁止する。

## 10. ゼッケン

（1）ゼッケンは折曲げたり，切ったりしてはならない．
（2）ボディー・ナンバーは下図を参考にし、2枚を5cm以上間隔を空けて取り付ける。
（3）フレームプレートはヘッドチューブ右側またはサドル下に装着する。




## 11. ギヤ比制限

（1）**U17、U15選手にギア比制限を適用する。（U17：7.01m 以内、U15：6.10m 以内）**

【注意事項】 ディレイラの調整によりギヤ比の設定行う場合においても、調整ミスの無いようにすること。
**ギヤにテープを貼ってギヤに入らないようにすることは禁止する。**
**スタート前にギア比を点検できる場所を招集検車場付近に設けるので各自セルフで確認してください。**
**完走後のギヤ比チェックで制限を超えた場合は、如何なる場合も失格となる。**
**上位でフィニッシュした選手はフィニッシュ地点付近でのギア比チェックを必ず受けること。**

## 12. スタート時刻

| | |
|---|---|
| 女子ｼﾞｭﾆｱ，女子U17 | 8:00～（10.3km×3周） |
| 男子U17，U15 | 9:05～（10.3km×5周） |
| 男子ｼﾞｭﾆｱ | 10:40～（10.3km×8周） |

## 13. スタート位置

（1）【男子ｼﾞｭﾆｱ】

↑　↑　↑　↑　↑　↑

| |
|---|
| 2024全日本選手権ジュニアロードレース8位入賞者 |
| 以下、先着順 |

（2）【男子U17,U15】

↑　↑　↑　↑　↑　↑

| |
|---|
| 2024全日本選手権ジュニアロードレースU17･8位入賞者<br>2024全日本選手権ジュニアロードレースU15･8位入賞者 |
| 以下、先着順 |

（3）【女子】

↑　↑　↑　↑　↑　↑

| |
|---|
| 2024全日本選手権ジュニアロードレース8位入賞者<br>2024全日本選手権ジュニアロードレースU17･8位入賞者 |
| 以下、先着順 |

【男子ｼﾞｭﾆｱシード対象者】

平山　雷斗　　吉田　奏太　　成田　光志

【男子U17+U15 シード対象者】

なし

【女子ｼﾞｭﾆｱシード対象者】

西原　夕華　　岡本　彩那　　冨田　にこ

【女子U17シード対象者】

綱嶋凛々音

## 14. 補給所

（1）補給所はチーム補給所に限定する。（コース図参照）

（2）補給は男子ジュニアの周回数3･4･5･6･7回に、男子U17･15の3･4回に行う事が出来る。

（3）飲食物補給員＜以下の項目に違反した場合は7,000円(1人)のペナルティーを科す。＞

補給員は監督･コーチで以下のライセンス所持者のみとする。

【JCFチームアテンダント･審判員、日本スポーツ協会公認コーチ】 選手が補給することは認めない。

補給員は各レースごとに6名以上参加の都道府県は3名まで、5名以下の都道府県は2名までとする。

各都道府県の代表者は申請書とともに補給員のライセンスカードを取りまとめ受付時に提出して

ＡＤカードを申請する。

補給所までの移動方法については監督会議で指示するので、勝手に移動しないこと。

## 15. グリーンゾーン

（1）空ボトル等は「チーム補給所」の付近に設置された「グリーンゾーン」で投棄すること。

（2）グリーンゾーン外でのごみ、ボトルの投棄は厳禁とする。

なお、これに違反した場合は、7,000円のペナルティーを科す。

## 16. 関門所

（1）第1関門、第2関門、第3関門を設置する。
（2）タイムアウト　　各関門で6位選手を含む集団通過後2分とする。
（3）関門所以外でも移動審判員の判断で競走から除外する場合がある。（特に熱中症の疑い時）
（4）競走から除外された選手は、ボディーナンバー、計測チップを外し、競技役員に渡すこと。

## 17. 機材サポートとインフォメーション

（1）ニュートラルホイルおよびバイクを主催者で準備する。
（2）ディスクブレーキ対応のホイルの規格は次の通り
　フラットマウント式　12mmスルーアクスル　リアエンド幅：142mm
　ローター径：フロント160mm，リア140mm
（3）リアホイールはシマノ11速、12速を用意している。12速の使用選手は、ニュートラルサポートがスムーズに行えるようにするため、ボディゼッケンの右端に赤線（縦線）をマジックで太く引くこと。
（4）提供を受けた機材は、招集・自転車検車所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。
（5）各チーム向けの器材ピットを第3関門所に設ける。

## 18. 表彰式

場所：南丹市美山支所正面玄関前。
集合：フィニッシュ後、速やかに行う。1位から3位の選手は正面玄関付近に待機すること。
服装：登録されたジャージとする。
表彰：男女ジュニアカテゴリでは、第1位にチャンピオンジャージ・メダル・賞状、第2・3位にメダル・賞状を授与する。
　男女U17、男子U15カテゴリでは、第1位から第3位にメダル・賞状を授与する。
　なお、男女ジュニア第1位の選手はナショナル・チャンピオンジャージに関するUCI、JCFの諸規則、ガイドライン等を遵守する旨、誓約書に署名をおこなうものとする。

## 19. その他

（1）大会期間中は、ADカードの着用を義務付ける。
（2）コースの下見について
　コースの下見を行う場合は、常に交通規制を遵守するとともにヘルメットの着用を義務付ける。
　地元警察署より交通規則を遵守するよう厳しく指導されているので、監督・コーチは責任を持って選手に指導すること。また、下見中の事故等は当事者同士で解決すること。選手間の接触・落車等による機材の破損についても、レース中の事故と同じ扱いとする。
（3）下見中、レース中のゴミの投げ捨ては厳禁とする。地域住民の方に迷惑がかからないよう出たゴミは必ず持ち帰ること。
（4）会場内は全面禁煙とする。
（5）駐車場は美山中学校の指定されたところを使用すること（駐車場図を参照）。駐車場所は公共の施設であり使用については十分注意すること。またゴミは必ず持ち帰ること。駐車禁止場所に駐車すると迷惑がかかりますので勝手に駐車しない事。駐車場係の指示に従ってください。
　駐車場内も全面禁煙とする。
　なお、指定以外の場所に駐車したり、ゴミの放置など違反行為があった場合や前日からの場所取り、当日の午前5時30分前までの駐車をした場合は競技運営を尊重しないとしてチーム代表者に相応のペナルティーを科す。

# 【救急体制】

**1.救護本部／First aid station headquarter**

南丹市美山支所前S／F地点脇の大会本部テント横に救護本部を設け消防署関係者が待機する。
また、レース随行の救護車状況などをレースディレクターから情報を得てレース全体の状況を把握する。
これとは別に看護師5名が待機する救護所を美山文化ホール会議室に設け、フィニッシュ後の負傷した選手や会場内の負傷者、熱中症の処置、場合によっては病院への搬送の手配を行う。

**2.救護車両体制／First aid vehicles**

レース車列内へドクターカー、アンビランス（明治国際医療大学所有）、選手収容車を随行させ、負傷者の処置や病院への搬送にあたる。ドクターカーへは医師、看護師（京都医療センター）を乗車させAED・必要医療品等を準備する。アンビンスは明治国際医療大学の救急救命士が乗車する。

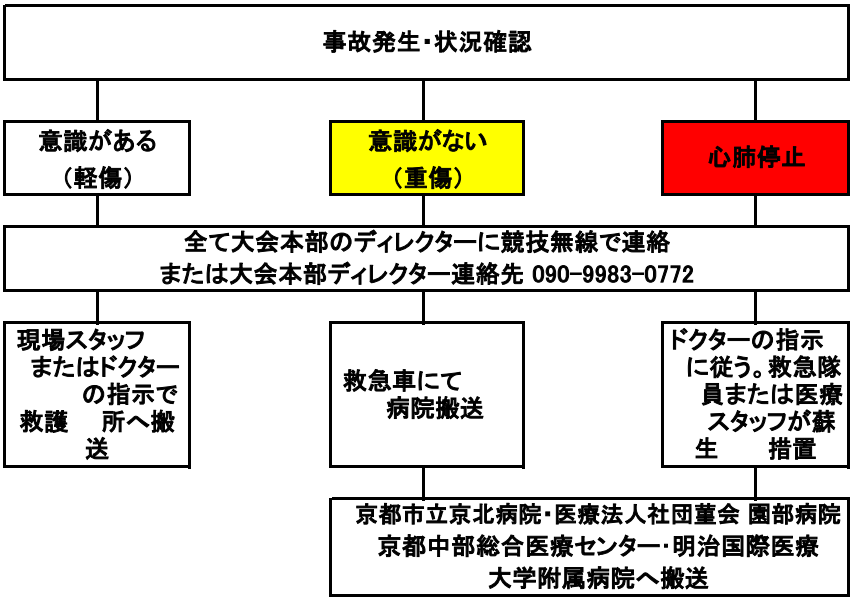
**3.事故・負傷者発生時について／In a case of accident**

事故、負傷者発生の一報を受け現場に（ドクターカー・アンビランス）が駆けつけ現場の競技役員・立哨員（今回は明治国際医療大学の学生）と連携し、必要な処置を行う。レース中においてはドクターカー乗車の医師が救急処置を行い、緊急の場合は救急車を要請する。要請はドクターカーのドライバーが無線で大会本部のディレクターに連絡をとり、ディレクターから救護本部に要請する。
事故・負傷者の発生情報は常に大会本部に連絡を入れ情報共有を図る。重大事故発生時については、救護本部・警察・消防・救急病院と連絡を取り搬送などの処置をする。また、場合によってはレースを中断することもある。その場合、レースはニュートラルの状態とする。

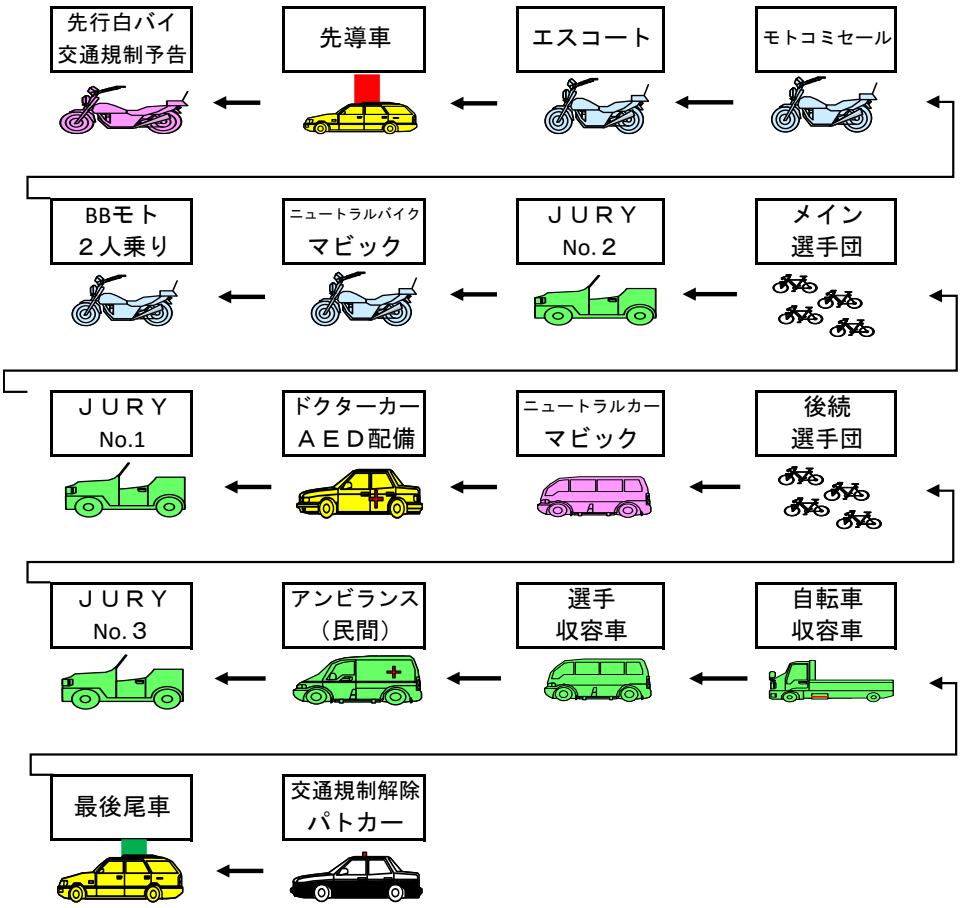
**4.競技負傷者への対応／Treatment to injured competitors**

競技者に対し医師が治療処置を行った場合でも担当医の判断でレース復帰可能とする。なお、救護所または病院搬送の場合、負傷状況に応じて（アンビランス・選手収容車）で役割分担を図る。

# 【病院への搬送手順】

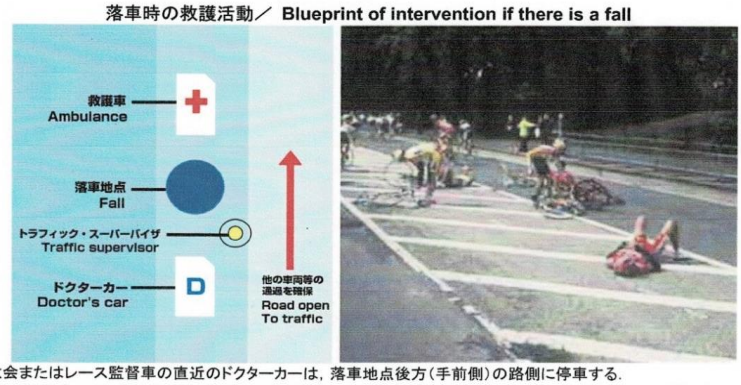


## 【資料1】ロードレース車列編成基本図



## 【資料2】落車時の救護活動

落車時の救護活動／ Blueprint of intervention if there is a fall




大会またはレース監督車の直近のドクターカーは，落車地点後方（手前側）の路側に停車する.
The doctor's car, which is close to the event or race manager's vehicle, stops behind the place of the fall on the side of the road

医師は可及的速やかに車外に出る.
The doctor gets out of the vehicle as soon as possible

ドライバーは医師を助け、指示に取り掛かるために、落車地点方向に歩く.
The driver walks towards the place of the fall to help the doctor and take instructions

- 救護車の無線呼出し
  Radio call to an ambulance,
- 大会監督の呼出し
  Call to the event manager,
- 緊急サービスの呼出し（救急医療サービス機関，消防署等）
  Call to an emergency service (S.A.M.U., fire-fighters,...)

あるいはレース車両の通過を助ける.
Or to assist race vehicles to pass

救護車はレースが中断していない場合には，交通を妨害しないように気をつけながら搬送すべき競技者近くの落車地点の前方で停車する.
The ambulance will stop ahead of the fall, close to the rider to be evacuated, taking care not to block the traffic if the race is not stopped

その場のレース関係者は，落車地点が他者に侵入されることから防ぎ，医事スタッフの仕事を守る助力をしなければならない（観客と報道に距離を置くように依頼し、目隠しとして毛布を広げるなど･･･）
Whatever race personnel are there must assist, prevent the place of the fall from being invaded, and protect the work of the medical staff (ask the public and the press to keep at a distance, help to put up a blanket.to make a screen,...)

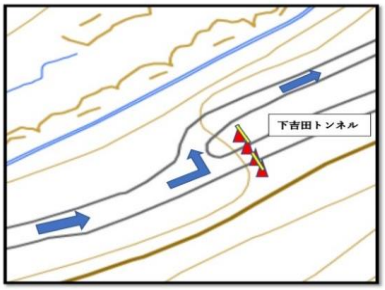
協調的に措置できるように，レース・ラジオで交信される情報は迅速・明確・正確でなければならない．これを確かなものとするため，この件についてトラフィック・スーパーバイザの存在と任務は非常に重要である.
To intervene in a coordinated way, the information relayed on the Race Radio must be swift, clear and precise. To ensure this, the presence and role of the traffic supervisor is of great importance in this case.

## 【資料3】病院

| 病院名／Hospital | 住所／Address | 電話番号／Tel |
|---|---|---|
| 京都市立京北病院 | 京都市右京区京北下中町鳥谷３ | 075-854-0221 |
| 医療法人社団董会 園部病院 | 京都府南丹市園部町美園町5号8-7 | 0771-62-0515 |
| 京都中部総合医療センター | 京都府南丹市八木町八木上野25 | 0771-42-2510 |
| 明治国際医療大学附属病院 | 京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1 | 0771-72-1221 |

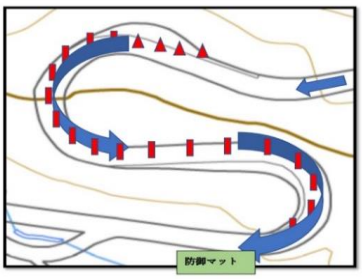
## 【資料4】コース中の危険個所

【下吉田トンネル手前】急な直格カーブで道が狭くなっている




【下吉田トンネル出口】急な直角カーブが続く

【九鬼ケ坂下りＳ字カーブ】センターラインにキャットアイ・ポールあり、誘導コーンで左車線へ




【静原交差点】下りの鋭角カーブ

## 【資料5】

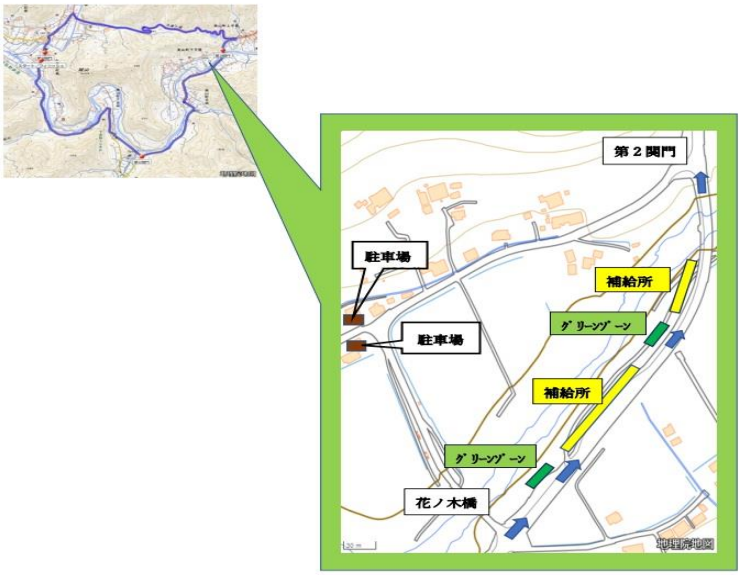
補給所について

※補給は男子ジュニアの３・４・５・６・７周目、男子U17･U15 の３・４周目に認めます。

※場所は第２関門手前です。進行方向左側から補給してください。

※ゴミやボトルなどは回収して持ち帰ってください。

※補給所までの移動方法は監督会議で指示します。地域に迷惑がかかりますので、無断で移動しないように。



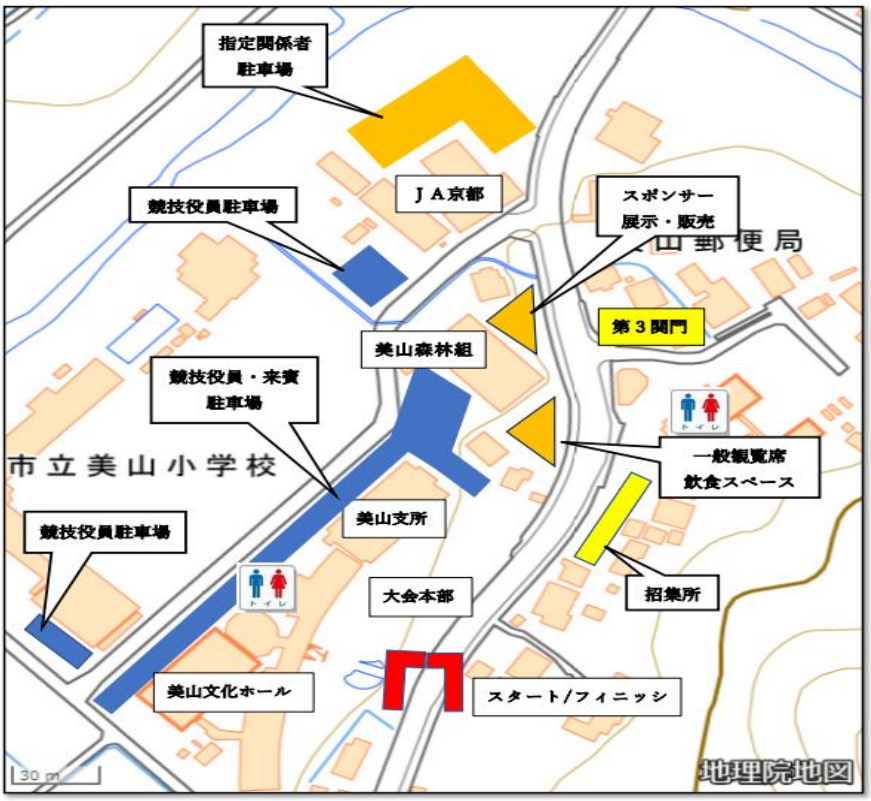
## 【資料6】メイン会場図と駐車場図

メイン会場図

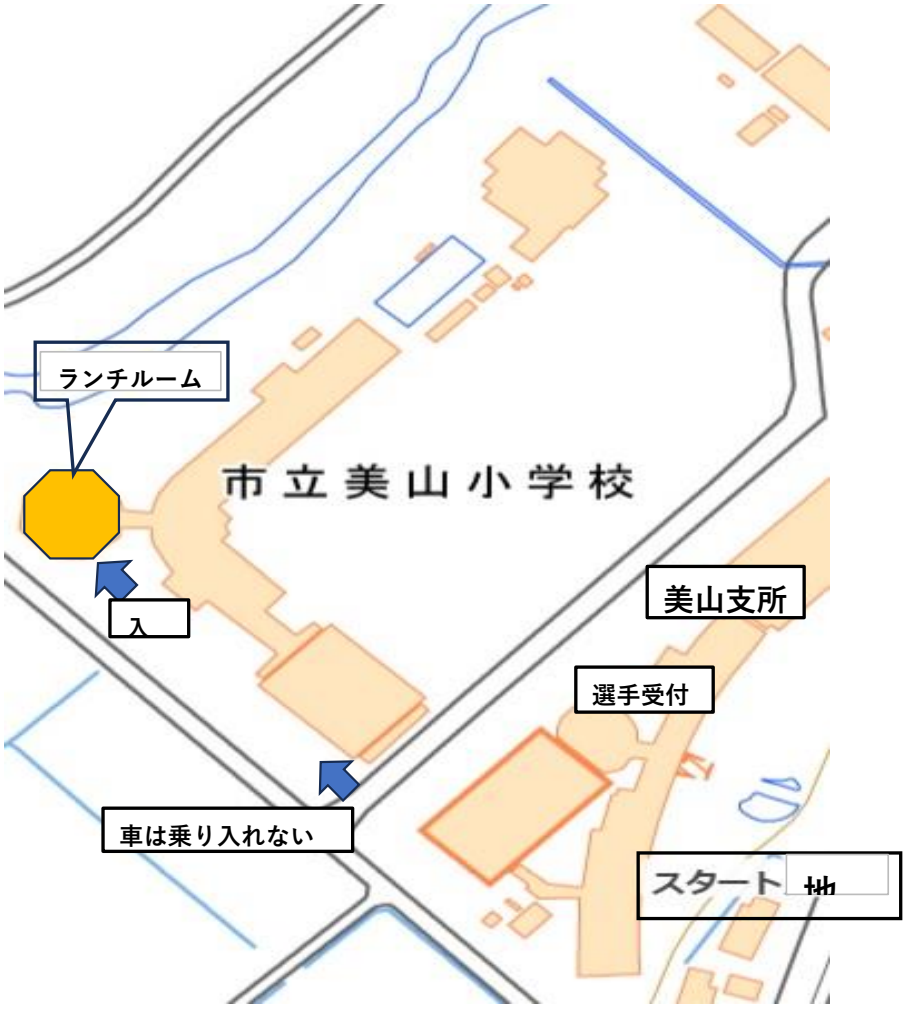
※競技中は運営管理エリア（AD管理）へは救急時・表彰時を除き選手・一般者は入れません。

駐車場（美山中学校）

駐車場（美山支所その他）



【資料7】監督会議会場図（美山小学校ランチルーム）




※　ランチルームは土足厳禁です。